

2014年「ハッピーキャリアプログラム—女性の仕事復帰・起業講座—」授業計画

授業科目名	ビジネスに活かす 経済数字の読み方	担当者	岡田克彦	実施月	11月～12月
-------	----------------------	-----	------	-----	---------

■講義目的

本講義では、ビジネスの世界で必ず必要となってくるいろいろな数字の読み方を身につけてもらいます。何となくいろいろな文脈の中で使われる経済関係の数字について、わかった気になって誤魔化しているところはないでしょうか？数字に弱いと正しい判断ができなくなり、騙されやすくなります。本講義を通じて、苦手な数字の使い手になりましょう。

■教科書＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

講義資料は適宜配布します。

■各回ごとの授業内容

1-2 金利の読み方

金利の世界で扱う数字は全てパーセンテージですから、とても小さい値だと思ってしまうかもしれませんが、経済に与える影響は甚大です。経済の血液であるお金の流れは、金利という血管の大きさに決まってくるからです。第一回目の講義では、金利の読み方をマスターしてもらいます。新聞には毎日金利に関する記事が出ています。それをどう読んで、今後をどう予想したら良いのかについて学習します。当日は日本経済新聞朝刊をご持参ください。

3-4 株式に関する数字の読み方

株式市場はどのようなメカニズムで動いているのでしょうか。株式なんて一種の政府公認の博打みたいなものだと考えていませんか？実は株価水準も適当に気分で決まっているのではなく、将来その企業がどの程度利益を上げるであろうかをマーケットの参加者達が予測しながら決まっています。株価に影響を与える要因はたくさんあります。それら一つ一つを学んで、ある程度の株価分析はできるようになりましょう。

5-6 確率と統計

「確率」、「統計」、「数学」、聞いただけで身の毛もよだつほど嫌！という方のための講義内容です。確率と統計が使えるようになって、説得的にものを語れるようにしましょう。『・・・絶対成功すると思います』より、『・・・の事例からこれが成功する確率は95%です』と言う方がスマートですよ。

7-8 ビジネス戦略を数字で考える

ビジネス戦略を数字で考えるメリットは、客観的に判断できるという点です。人間誰しも思い入れはありますが、感情に流されていると、重要な意志決定を誤ってしまうリスクにさらされます。日頃からビジネス環境の変化を数字で把握するような癖をつけましょう。そうしていれば、気が付きにくい変化にも柔軟に、迅速に対応できることでしょ。最終回は、これまで習ったことの総まとめと実践の練習です。

■授業方法

基本的には講義形式ですが、宿題としてテーマを設定したグループ発表を計画しています。授業でならった数字の読み方、解釈の仕方を応用しながら発表してもらうこともあります。

■参考文献＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

榊原茂樹・岡田克彦、『一からのファイナンス』 碩学舎、2011年

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連

特にありません。やる気がある方はだれでも歓迎です。